

帝京大学

産業保健高度専門職養成の 大学院プログラム

平成26年度 文部科学省

高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム 採択事業



帝京大学
Teikyo University

働く人々の健康を支える高度な人材を育成するプログラム



労働現場では雇用形態の変化、海外勤務の増加、多国籍労働者、そしてメンタルヘルスといった、これまでの知識や経験だけでは対応できない新たな問題が顕在化しています。

本プログラムでは、産業界と共同した実践的な教育に加え、ハーバード大学等と提携した特別講義を通じ、産業現場の問題に高度なレベルで取り組む能力を持った人材を育てていきます。

■プログラムの特徴

Key Features of the Program

- 産業界(日立製作所、日産自動車、等)との共同企画・運営による実践教育
(現場に根ざした解決能力を養成)
- 疫学・生物統計学を含めた体系化された科目編成による科学的分析能力と高度な産業保健学の修得
- 産業現場での実習・実地研究で問題解決能力・コンピテンシー向上を図り、キャリアアップに最適
- 「帝京女性医師・研究者支援センター」と連携した社会人(特に女性)の学びやすい環境の提供
- ハーバード大学等の優れた海外講師陣によるハーバード特別講義の無料聴講
(産業環境保健分野)
- 演習や実習を通じた、働く人々の健康課題に応じた、学生同士の議論による問題解決能力やリーダーシップの獲得
- 働きながらのキャリアアップ(長期履修制度あり)
- 日本医師会認定産業医生涯研修20単位の取得

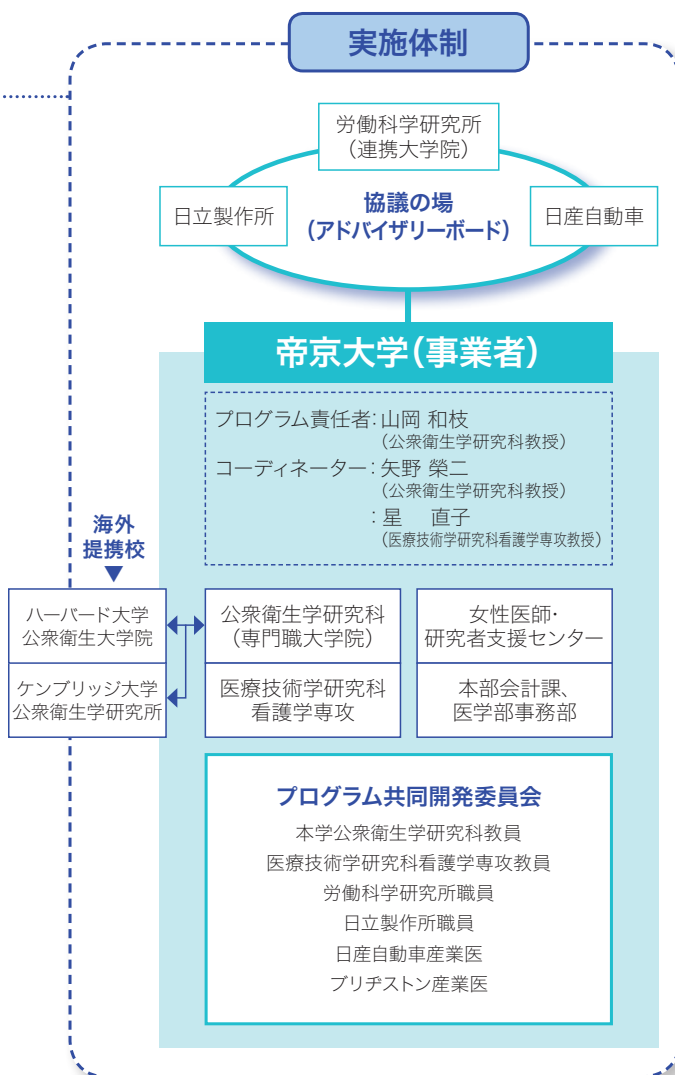
■プログラム責任者からのメッセージ

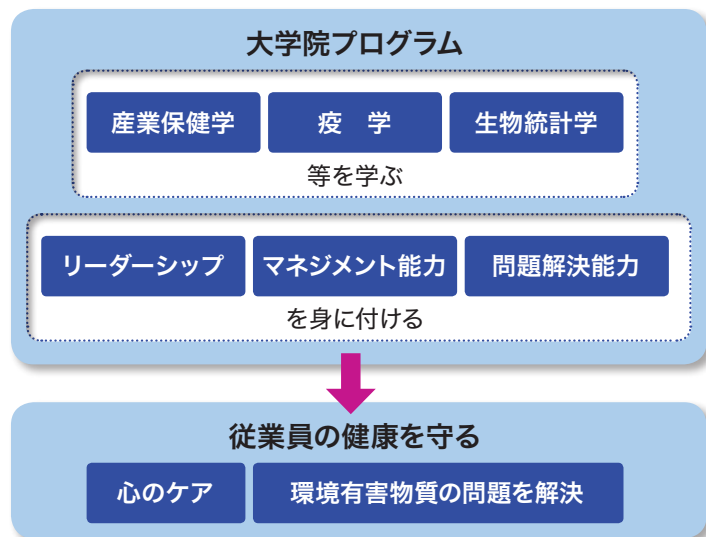
Message of the Program's Person in Charge

山岡 和枝 教授(帝京大学大学院公衆衛生学研究科長)



産業保健の現場で、どうしたらより健康に優しい職場にできるのか、どうしたらこの問題を解決できるのか等々、悩みを抱えている方、この「学び直し」プログラムで、協働して産業保健専門職として問題を解決していく力を培うことをめざしませんか。社会人を対象とした、女性に優しいプログラムです。





■プログラムの概要 At a Glance

募集定員:10名程度

履修期間:1年間(長期履修制度:最長2年間に延長可)

受講料:10万円

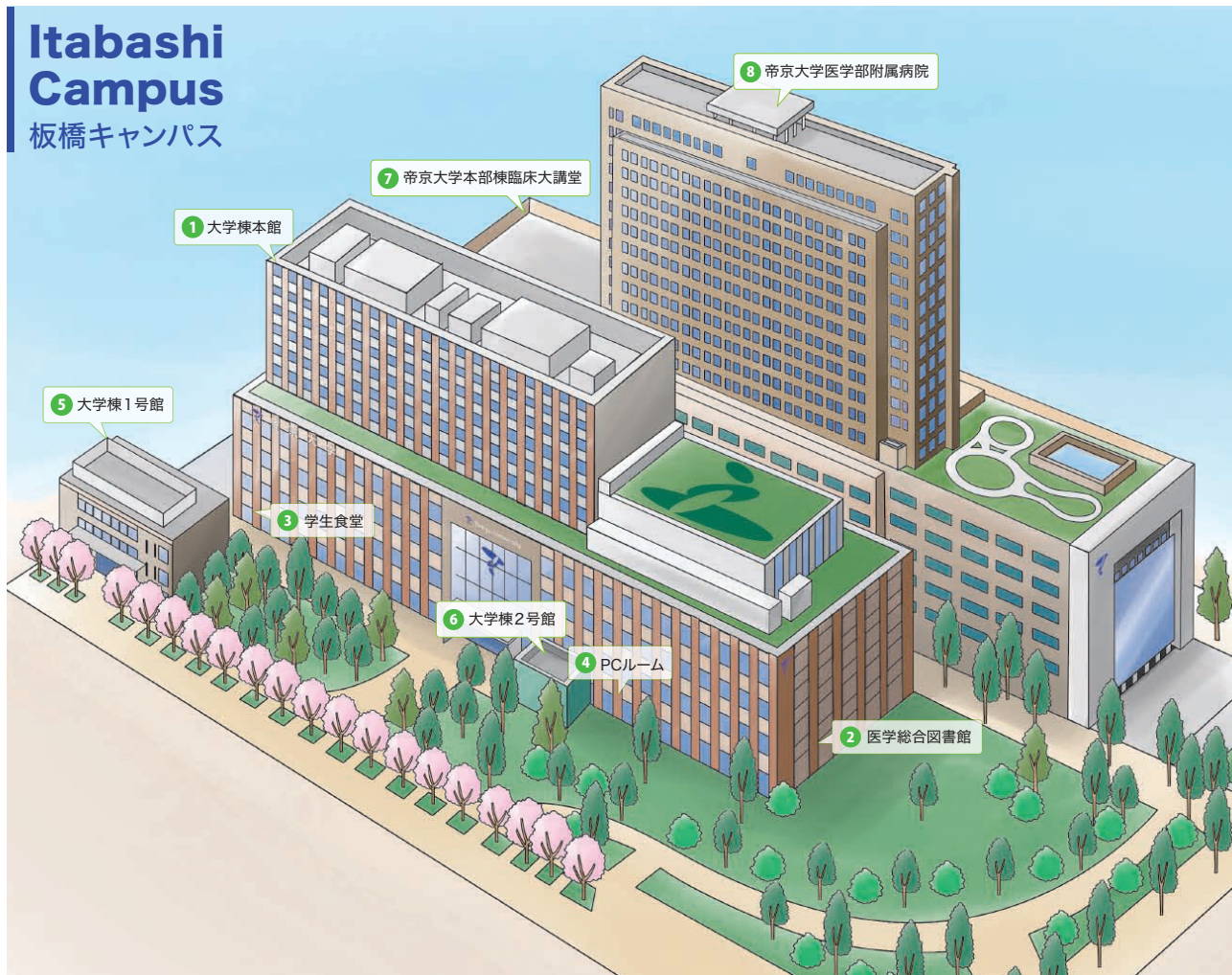
履修科目:必修5科目(産業保健学、疫学、生物統計学分野)
選択2科目(産業保健学分野)

修了要件:①必修5科目及び選択科目2科目以上の合計
159時間以上を受講すること。

②必修科目の実地研究において、研究報告
が基準レベルを達成すること。

■必修科目(科目責任者)	内 容
疫学概論 (矢野榮二)	科学的な思考方法の基礎となり、合理的な意思決定に必須の疫学の考え方を修得する。各種疫学研究の技法を修得し、研究論文の批判的吟味と研究計画立案の方法を学ぶ。
産業保健学 (原邦夫)	産業医や産業看護師など産業保健を専門とする者が、当該領域の経験や知識を体系化し、より高度な専門実務能力を身につける。とくに、職場巡視における視点を理解し、実際に適用できる能力を獲得する。
基礎生物統計学 (山岡和枝)	医学研究における統計学と疫学方法論の基礎を学習し、さらに統計解析ソフトウェアを用いてデータ解析を行うことができる能力を修得する。講義と演習により、統計解析手法に関する基本的な知識を修得する。
産業保健高度人材養成実習 (産業環境保健学実習) (原邦夫)	産業環境保健学概論の講義で学んだ成果を活かす場として実際の現場を巡視する。現場の巡視を通して、環境を評価・改善するための視点を獲得する。
実地研究 (指導教員)	自身の現場の課題について、問題の定式化、疫学的・統計学的・産業保健学的な解析、課題についての対策案の作成、対策の実施、実施内容についての評価、これらの一連の能力を獲得する。
■選択科目(科目責任者)	内 容
産業環境保健学概論 (原邦夫)	産業保健・環境保健を専門としない公衆衛生専門職が様々な形で関わることの多い、産業保健、環境保健について包括的認識を持つ。そのためにも、この分野の第一線級の経験を聞く。
産業中毒学 (矢野榮二)	環境因子による健康障害を系統的に学ぶことで、健康障害を環境因子との関係で考えられるようになる。様々な環境についてそこにおける健康障害を想起、診断する能力を身につけるとともに、その予防や治療を行えるようになる。
組織管理学特論 (中田善規)	組織一般の理解を深めるために一般の経営学とコミュニケーション学を基礎にした学習を行う。正解のない分野であるため、異なる視点からの討論を中心に講義を進める。公衆衛生分野でリーダーとなるべき人材に必須の知識を教授する。
ハーバード特別講義 (産業環境保健学) (Stefanos Kales)	2015年度はStefanos Kalesハーバード大学公衆衛生大学院准教授(環境保健学)が講義を担当する。2014年度は通常の米国の大学院がそうであるように、予習を重視し、教室では産業現場での自験例を持ちより、事例を基に討論を行った。
特別講義 (メンタルヘルス専門職のスキルアップ) (福田吉治)	職場のメンタルヘルス課題に対し、産業保健師として必要となるメンタルヘルス対策における現場での実践力を獲得する。課題対策を通し、職場全体の産業保健のアセスメント・マネジメントができる能力を獲得する。
特別講義 (技術職の労働衛生コンサルタント養成 (労働衛生技術)) (原邦夫)	作業環境の有害要因の測定および管理に関する仕組みや排気システム、有害要因への曝露レベルの測定方法について学習し、選択すべき対策方法を理解し、新規有害要因への対応としてのリスク管理適用能力を獲得する。
特別講義 (産業保健師マネジメント能力育成) (山崎恭子)	企業での産業保健師の経験もある実務者教員を中心に、ケースを用いた講義・演習とする。産業保健師の倫理、企業の意味決定のルール、他職種との合意形成、プレゼンテーション技術、などについて、ケースを用い、講義と演習を組み合わせ、グループディスカッションを行う。
環境アセスメント実習 (原邦夫)	作業環境測定および個人曝露測定についての基本的理解をした上で、職場環境のアセスメントができるように、簡易な測定機器についての基本的な活用能力を獲得する。
実践特別セミナー(統括産業医養成) (矢野榮二)	複数産業医が存在する企業において、会社のプログラム方針を踏まえ、産業医業務を統括し、産業保健全般をマネジメントする能力を獲得する。

板橋キャンパス



交通アクセス



●最寄り駅から板橋キャンパスまでの所要時間

- ・ JR 埼京線「十条駅」より徒歩約10分
- ・ 都営三田線「板橋本町駅」より徒歩約12分

●主要駅から十条駅までの所要時間

- ・池袋からJR埼京線で約5分
- ・新宿からJR埼京線で約10分
- ・渋谷からJR埼京線で約16分
- ・品川・浜松町からJR山手線にて大崎(乗り換え) + JR埼京線で約35分
- ・大宮からJR埼京線快速で約21分
- ・八王子からJR中央線中央特快にて新宿(乗り換え) + JR埼京線で約60分
- ・横浜からJR湘南新宿ラインにて池袋(乗り換え) + JR埼京線で約50分
- ・千葉からJR総武線にて新宿(乗り換え) + JR埼京線で約90分

お問合せ先

帝京大学 産業保健プログラム事務局

〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1

TEL:03-3964-3294 (内線:42122) FAX:03-3964-8396

E-mail: oh-pro@med.teikyo-u.ac.jp

詳しくはインターネットからご覧ください。

帝京 産業保健

検索

※個別相談を随時受付中



帝京大学
Teikyo University